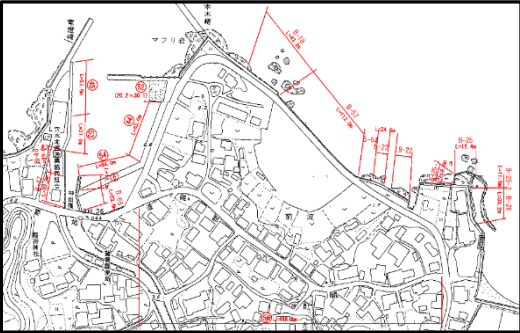


令和6年能登半島地震 被害・復旧状況カルテ

施設等名称	前波漁港		
位置図	地番	前波地先	
			
施設概要 発災当初の 状況	被害額	279,734,000	円
	護岸の水叩工の沈下、亀裂、破断、空洞化、傾き 石積の抜け落ち 物揚場のエプロンの沈下、亀裂、護岸の傾き 船揚場の舗装版の亀裂		
被害状況詳細	・ 6災第1123号 復旧延長 L=239.4m -1.5m物揚場44 L=63.2m、 -1.5m物揚場54 L=64.3m、船揚場52 L=20.2m、 -2.0m物揚場45 L=57.6m、-2.0m物揚場53 L=34.1m ・ 6災第1124号 復旧延長 L=263.4m 前波漁港線56 L=263.4m ・ 6災第1125号 復旧延長 L=172.2m 57号護岸 L=112.0m、 18号護岸 L=47.1m、64号護岸 L=13.1m ・ 6災第1126号 復旧延長 L=11.4m 22号護岸 L=11.4m ・ 6災第1127号 復旧延長 L=32.5m 25号護岸 L=15.3m、27号護岸 L=17.2m		
復旧状況 今後の方針 (R8.6.1現在)	1 1月6日災害査定実施 工事発注まで危険箇所はバリケード設置中 (護岸)(B-18・64)沈下した水叩工を打ち替える。(B-57)傾きや滑動について実施設計時に検討。(B-22)抜け落ちた石積護岸を隣接の災害復旧区間と同断面で復旧する。 (物揚場)(45・53・54・44)沈下、亀裂の生じたエプロンを打ち替える。護岸の傾きは実施設計時に検討。(船揚場)(52)亀裂の生じた舗装版を打ち替える。 (臨港道路)(56)陥没した舗装の復旧(一部復旧済み)。(その他)護岸(B-45・45・55)及び導流堤(5)は、県と復旧区間の調整中。護岸(B-25・26)は、護岸修繕を行う。		
写真	撮影日時		
			